

東京放射線

2017年4月号

Vol.64 No.749



公益社団法人 東京都診療放射線技師会

<http://www.tart.jp/>

巻頭言	報告	報告	連載
「今とは違う」ということ 篠原健一	公益社団法人東京都診療放射線技師会 第68回定期総会 平成29年度業務拡大に伴う統一講習会	ソウル特別市放射線士会（SRTA）との学術交流協定締結 篠原健一	研修会等申込書 登録事項変更届 比内聖紀

診療放射線技師 業務標準化宣言

いま我が国では「安心して安全な医療の提供」が国民から求められている。そして厚生医療の基本である「医療の質の向上」に向けて全ての医療職種が参加し、恒常的に活動をする必要がある。

私達が携わる放射線技術及び医用画像技術を含む診療放射線技師業務全般についても、国民から信頼される普遍的な安全技術を用いて、公開しなくてはならない。そして近年、グローバルスタンダードの潮流として、EBM (Evidence Based Medicine)、インフォームドコンセント、リスクマネジメント、医療文化の醸成、地球環境保全なども重要な社会的要求事項となっている。

公益社団法人東京都診療放射線技師会では、『国民から信頼され選ばれる医療』の一員を目指し、診療放射線技師の役割を明確にするとともに、各種業務の標準化システム構築を宣言する。

診療放射線技師業務標準化には以下の項目が含まれるものとする。

1. ペイシェントケア
2. 技術、知識の利用
3. 被ばく管理（最適化／低減）
4. 品質管理
5. 機器管理（始終業点検／保守／メンテナンス）
6. 個人情報管理（守秘／保護／保管）
7. 教育（日常教育／訓練／生涯教育）
8. リスクマネジメント
 - ～患者識別
 - ～事故防止
 - ～感染防止
 - ～災害時対応
9. 環境マネジメント（地球環境保全）
10. 評価システムの構築

公益社団法人 東京都診療放射線技師会

診療放射線技師のための接遇規範

1. 検査に際しては明瞭で分かりやすい言葉（患者さんの分かる言葉）で話す。
2. 患者さんをお呼びするときは、姓・名を確認する。
3. お年寄り、歩行困難、病状の悪い患者さんに対する検査室のドアの開閉は、特に技師がおこなう。
4. 検査室入室後は、患者さんから目を離さないようにする。
5. 自分の名前を名乗り、検査部位と撮影回数を説明し、患者さんの同意を得てから検査をおこなう。特に小児やお年寄りの方で検査介助が必要なときは、十分な説明をおこない同意を得てから検査の介助をしていただく。
6. 脱衣の必要な検査は、検査着に着替えていただく。検査の特殊性から脱衣が必要なときは、露出部をバスタオルなどで覆う。
7. 検査台の乗り降りは、原則として患者さんの手の届くところに技師がいる。
8. 検査手順を守り、患者さんの身体に手が触れるときは事前に同意を得てから触れる。
9. できるだけ短時間で検査を終了し、「お疲れさまでした」等の癒しの言葉を述べる。
10. 検査室から患者さんが退出するまでは技師の責任である。
11. 検査室は常に整理整頓、清潔であること。
12. 仕業（始業・終業）点検は毎日おこなう。
13. 検査部位ごとの被ばく線量はいつでも答えられるようにしておく。
14. 照射録は正確に記載する。
15. 医療人として患者さんから高い信頼を得られるよう努力する。

公益社団法人 東京都診療放射線技師会

スローガン

チーム医療を推進し、
国民及び世界に貢献する
診療放射線技師の育成

2017年
APR
CONTENTS

目次

診療放射線技師業務標準化宣言	1
診療放射線技師のための接遇規範	2
巻頭言「今とは違う」ということ..... 会長 篠原健一	4
会告1 公益社団法人東京都診療放射線技師会 第68回定期総会.....	5
会告2 平成29年度業務拡大に伴う統一講習会	6
会告3 平成29年度診療放射線技師のための「フレッシュャーズセミナー」 (第65・67回日暮里塾ワンコインセミナー合同開催).....	8
会告4 第60回きめこまかな生涯教育	10
会告5 第66回日暮里塾ワンコインセミナー	11
お知らせ1 東放技会員所属地区のご案内	12
報 告 ソウル特別市放射線士会 (SRTA) との 学術交流協定締結	13
連 載 学術が行く〜急性疾患アラカルト〜 第一部 急性腹症「急性脾炎」	14
パイプライン	
・第31回全国循環器撮影研究会 総会・学術研究発表会	19
・超音波画像研究会 第249・250回定例会	20
・平成29年度関東甲信越診療放射線技師学術大会	21
・南関東FRT 第3回研修会	22
・第33回日本診療放射線技師学術大会	23
平成28年度2月期会員動向	24
平成28年度第11回理事会報告	25
研修会等申込書	30
登録事項変更届	31

Column & Information

・求人情報	24
・学術講演会・研修会等の開催予定	28
・イエローケーキ	29
・「東京放射線」5月号のお知らせ	29

巻頭言



「今とは違う」ということ

会長 篠原健一

本会をお預かりして4期目の後半の年である平成29年度を迎えた。年頭所感やその他でくりかえし書いているが、2年後・3年後・4年後のための準備の多くがスタートする年と位置付けている。すぐ先もずっと先の未来も、場当たり的な計画と行動の積み上げでは実現できない。一人ひとりが“あるべき姿”を想像することが大事である。

文部科学省所管の国立研究開発法人-科学技術振興機構（JST）が、「日本の未来社会がこうなっていきたい」という提案を一般の人から募集し、国が助成する研究テーマを選定する試みを始めるという（2017年1月30日・日経）。博報堂生活総合研究所の未来年表で「医療の未来」を検索すると、将来実現する可能性のある項目が数多く出ている。それはそれで素晴らしいと思うが、本当に大事な未来は別にあるような気がする。皆さんも何か提案してみたらいかがだろうか。

昨年ノーベル医学生理学賞を受賞した東京工業大・大隅良典栄誉教授は基礎研究のあり方について提言されていた。とかく「(すぐに)何の役に立つのか」「お金になるか」という視点が優先されがちだそう。もちろん間違いとは言いきれないが、本当に望む未来は、目先の都合の積みかさねだけではやってこないように思う。その東工大では「大隅良典記念基金」を創設し、若手研究者や学生を支援するという。大隅先生は、原資としてノーベル賞賞金にほぼ相当する1億円を寄付したそう（2017年1月26日・日経）。ちなみに、第1回のノーベル物理学賞を受賞した我らがレントゲン博士（Wilhelm Conrad Röntgen）も、賞金全額をエックス線の研究をしたヴェルツブルク大学に寄付したことは周知のとおりである。ノーベル賞と賞金全額寄付という偉業と行動の共通事項は実に素晴らしく、ともども誇らしい限りである。

技師会が取り組んでいる施策は、当然すぐに実現しなければならないものもあるが、時間がかかるものや紆余曲折が予想されるものも数多くある。

- ・養成教育の四年制大学化及び参加型臨床実習の実現。
- ・国家試験委員構成の見直し。
- ・放射線治療の品質管理業務には診療放射線技師（放射線治療品質管理士）を活用。
- ・がん対策推進基本計画に基づく診療放射線技師育成の充実及び環境整備。
- ・チーム医療を推進するためのさらなる業務範囲拡大と診療放射線技師の活用。
- ・医療安全のための適切な管理体制の構築。
- ①医療放射線による被ばくの管理体制 ②放射線関連医療機器の管理体制 ③画像データの管理体制
- ・緊急被ばく並びに医療被ばくに対応するための専門官の配置。
- ・放射線の教育・普及啓発活動に対する診療放射線技師の活用。
- ・診療放射線技師法の抜本的改正。
- ・ワーク・ライフ・バランス。

着々と進められているものもあるが、高いハードルを越えていかなければならないものもある。現役中に実現できなくても、いま取り組んでおかなければ、さらに遠い未来となる。10年後、20年後、30年後のあるべき未来のためにいま何をすべきかが重要である。われわれには、先人が残してくれたこの職能をより良いものにして引き継ぐ使命がある。

「未来についてわかっている唯一のことは、今とは違うということだ」（ドラッカー）

公益社団法人東京都診療放射線技師会 第68回定期総会 開催の件

本会定款第14条に基づき下記の通り、公益社団法人東京都診療放射線技師会 第68回定期総会を開催致します。

記

日 時：平成29年6月18日（日）14時30分～（受付開始14時00分）

会 場：東医健保会館 大ホール

東京都新宿区南元町4番地

TEL 03-3353-4311

FAX 03-3357-7553

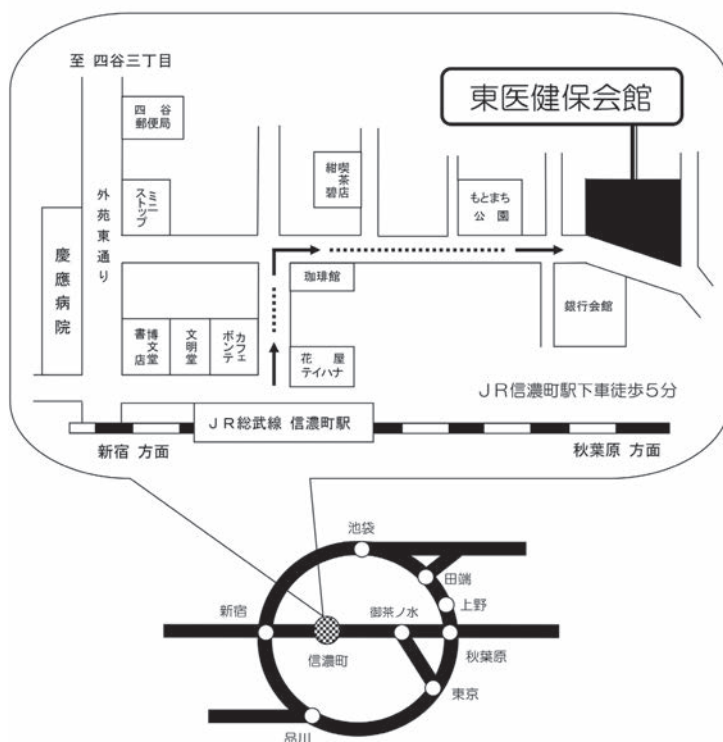
アクセス：JR信濃町駅より 徒歩約5分

以上

公益社団法人東京都診療放射線技師会

会長 篠原 健一

案内図



平成29年度業務拡大に伴う統一講習会

主催：公益社団法人日本診療放射線技師会 実施：公益社団法人東京都診療放射線技師会

診療放射線技師法が平成26年6月18日に一部改正され、平成27年4月1日施行されました。具体的には、CT・MRI検査等での自動注入器による造影剤の注入、造影剤注入後の抜針・止血、下部消化管検査の実施（ネラトンチューブ挿入も含めて）、画像誘導放射線治療時の腸内ガスの吸引のためのチューブ挿入であり、診療放射線技師の業務内容が拡大しました。以上の業務を行うための条件として、医療の安全を担保することが求められています。この業務拡大に伴う必要な知識、技能、態度を習得することを目標とし、“業務拡大に伴う統一講習会”と称し、2日間にわたり実施することとしました。

本講習は厚生労働省と公益社団法人日本診療放射線技師会が検討したカリキュラムに従い、都道府県放射線技師会が講習会を運営し、一定レベルの講習会を全ての診療放射線技師が受講できる環境を提供することを目的としています。平成29年度の本会における予定は下記の通りです。

記

第1回

日 時：平成29年5月13日（土）8時50分～17時10分（受付開始8時30分～）
平成29年5月14日（日）8時30分～17時30分
場 所：首都大学東京 荒川キャンパス
東京都荒川区東尾久7-2-10
ア ク セ ス：日暮里・舎人ライナー 熊野前駅より 徒歩約3分
募 集 人 数：100名

第2回

日 時：平成29年7月8日（土）8時50分～17時10分（受付開始8時30分～）
平成29年7月9日（日）8時30分～17時30分
場 所：中野サンプラザ 研修室
東京都中野区中野4-1-1
ア ク セ ス：JR中央線・総武線 中野駅北口より 徒歩約3分
募 集 人 数：100名

第3回

日 時：平成29年9月16日（土）8時50分～17時10分（受付開始8時30分～）
平成29年9月17日（日）8時30分～17時30分
場 所：駒澤大学 駒沢キャンパス
東京都世田谷区駒沢1-23-1
ア ク セ ス：田園都市線 駒沢大学駅より 徒歩約10分
募 集 人 数：100名

第4回

日 時：平成29年11月11日（土）8時50分～17時10分（受付開始8時30分～）
平成29年11月12日（日）8時30分～17時30分

場 所：三鷹産業プラザ 会議室
東京都三鷹市下連雀3-38-4 三鷹産業プラザ

ア ク セ ス：JR中央線・総武線 三鷹駅南口より 徒歩約8分

募 集 人 数：100名

第5回

日 時：平成30年1月20日（土）8時50分～17時10分（受付開始8時30分～）
平成30年1月21日（日）8時30分～17時30分

場 所：首都大学東京 荒川キャンパス
東京都荒川区東尾久7-2-10

ア ク セ ス：日暮里・舎人ライナー 熊野前駅より 徒歩約3分

募 集 人 数：100名

第6回

日 時：平成30年3月3日（土）8時50分～17時10分（受付開始8時30分～）
平成30年3月4日（日）8時30分～17時30分

場 所：会場調整中

ア ク セ ス：未定

募 集 人 数：100名

申込み期間：各講習会開催初日の2週間前を締切とします。

受 講 料：会 員 15,000円、非会員 60,000円

但し、各種講習受講者減免として

会 員 静脈受講者：13,000円、注腸受講者：5,000円、静脈注腸受講者：3,000円

非会員 静脈受講者：50,000円、注腸受講者：35,000円、静脈注腸受講者：15,000円

申 込 方 法：JART情報システム内のイベント申込メニューから申し込むこと。

注）東放技事務局および東放技HPからのお申し込みはできません。

受講料振込等：申し込み後、日放技より振込み先の案内があります。

講習会修了基準：次のいずれかに該当する場合は、修了とみなしません。

ア）講習時間15単位（1単位50分）に対し、欠課の合計時間が45分を超えた場合

イ）欠課が15分を超えたコマが1つ以上あった場合

生涯学習カウント：修了者は「学術研修活動」カウントが付与されます。

以上

平成29年度診療放射線技師のための 「フレッシューズセミナー」

第65・67回日暮里塾ワンコインセミナー（新入会促進セミナー）合同開催

主催：公益社団法人日本診療放射線技師会、公益社団法人東京都診療放射線技師会

このたび平成29年度診療放射線技師のための「フレッシューズセミナー」、第65・67回日暮里塾ワンコインセミナー（新入会促進セミナー）を開催致します。

これは公益社団法人日本診療放射線技師会と公益社団法人東京都診療放射線技師会の共同企画であり、新人診療放射線技師を対象としたセミナーです。このセミナーの特徴は、医療者として必要な医療安全学、医療感染学、エチケット・マナーを学ぶだけではなく、診療に対応できるよう知っておくべき基礎知識の習得を目的として開催します。

今回は同じ内容で2回開催致しますので、ご都合の良い方を選んでください。

多くの皆さまのご参加をお待ちしております。

記

日 時：1回目 平成29年5月28日（日）9時00分～17時15分（受付開始8時30分～）

2回目 平成29年6月11日（日）9時00分～17時15分（受付開始8時30分～）

場 所：公益社団法人東京都診療放射線技師会研修センター

〒116-0013 東京都荒川区西日暮里2-22-1 ステーションプラザタワー505

ア ク セ ス：JR日暮里駅北口改札 東口方面より徒歩3分

受講対象者：診療放射線技師として新入職した者、または経験2～3年程度の者

受 講 料：無 料

申 込 方 法：東放技ホームページ（<http://www.tart.jp/>）の参加申し込みフォーム（研修会申し込み先は“学術教育委員会”を選択）からお申し込みください。または会誌の研修会等申し込み用紙にて事務所にFAXでお申し込みください。

講習会修了基準：次のいずれかに該当する場合は、修了とみなしません。

ア）講習時間に対し、欠課の合計時間が1割を超えた場合

イ）欠課が15分を越えたコマが一つでもあった場合

生涯学習カウント：修了者は「学術研修」カウントが付与されます。

締 め 切 り：1回目 平成29年5月21日（日）

2回目 平成29年6月4日（日）

問い合わせ：学術教育委員長 市川重司 E-Mail：gakujitu@tart.jp

公益社団法人東京都診療放射線技師会 事務所 TEL・FAX：03-3806-7724

以上

— プログラム (5/28・6/11共通) —

限	時 間	科 目
	8:50～9:00	開講式・オリエンテーション
1	9:00～10:00	エチケット・マナー講座・医療コミュニケーション
2	10:00～10:45	医療安全対策講座
3	10:55～11:40	感染対策講座
4	11:40～12:10	被ばく低減
昼 食		
5	13:00～13:30	技師会活動紹介
6	13:30～14:30	胸部撮影（技術、装置、解剖）
7	14:40～15:40	気管支解剖
8	15:50～16:35	CT装置の基礎と撮影技術
	16:35～17:05	入会案内
	17:05～17:15	閉講式

【東京都診療放射線技師会研修センター】



第60回きめこまかな生涯教育 テーマ「乳腺MRI」

今回は乳腺MRIを特集します。

検査時のポジショニングからBI-RADS MRIまで、幅広く乳腺MRIについて勉強したいと思います。
多くの方の参加をお待ちしております。

～ プログラム ～

- 15:00～16:00 乳腺MRI撮像のお作法
～乳腺MRIの変遷から撮像シーケンスの特徴・ポジショニング～
講師 東京慈恵会医科大学附属第三病院 北川 久 氏
- 16:10～17:10 乳腺MRI撮像におけるBI-RADS・ガイドラインについて
講師 公立学校共済組合 関東中央病院 坂井香澄 氏

記

日 時：平成29年5月27日（土）（受付開始14時30分～）
場 所：公益社団法人東京都診療放射線技師会研修センター
〒116-0013 東京都荒川区西日暮里2-22-1 ステーションプラザタワー505
ア ク セ ス：JR日暮里駅北口改札 東口方面より徒歩3分
受 講 料：会員2,000円、非会員10,000円（当日徴収）
申 込 方 法：東放技ホームページ（<http://www.tart.jp/>）の参加申し込みフォーム（研修会申し込み先は
“学術教育委員会”を選択）からお申し込みください。または会誌の研修会等申し込み用紙
にて事務所にFAXでお申し込みください。
定 員：50名（定員になり次第締め切ります）
カウント付与：日本診療放射線技師会学術研修2.0カウント付与
問い合わせ：学術教育委員長 市川重司 E-Mail：gakujitu@tart.jp
公益社団法人東京都診療放射線技師会 事務所 TEL・FAX：03-3806-7724

以上

第66回日暮里塾ワンコインセミナー

～ 情報委員会Collaboration企画 ～

テーマ「明日から始めるITセキュリティ実践講座」

講師：株式会社日立製作所 IoT・クラウドサービス事業部 野澤 篤史 氏

昨今、日常生活だけではなく医療現場においてもIT技術が欠かせませんが、それに伴い個人情報の取り扱いや、頻発するサイバー攻撃への注意などITセキュリティの考慮が必須となっています。

今回は、前半に実際の事故事例や、個人データの取り扱い方、Webサイト・電子メール・クラウドサービス利用時に普段から心がけるべき注意事項などをお話いただきます。後半は講師の方と本会情報委員とのディスカッションを予定しております。

多くの方のご参加をお待ちしております。

記

日 時：平成29年6月8日（木）19時00分～20時30分

場 所：公益社団法人東京都診療放射線技師会研修センター

〒116-0013 東京都荒川区西日暮里2-22-1 ステーションプラザタワー505

ア ク セ ス：JR日暮里駅北口改札 東口方面より徒歩3分

受 講 料：会員500円、非会員3,000円

新卒かつ新入会員*、一般ならびに学生 無料

申 込 方 法：東放技ホームページ（<http://www.tart.jp/>）の参加申し込みフォーム（研修会申し込み先は“情報委員会”を選択）からお申し込みください。または会誌の研修会等申し込み用紙にて事務所にFAXでお申し込みください。

問い合わせ：情報委員長 安宅里美 E-mail：hp@tart.jp

公益社団法人東京都診療放射線技師会 事務所 TEL・FAX：03-3806-7724

以上

※ 新卒かつ新入会員とは、技師学校卒業年に技師免許取得し本会へ入会した会員をいう

お知らせ 1

あなたはご自分の所属地区をご存じですか？

東京都診療放射線技師会は、東京を13の地区に分け、東京に隣接する千葉方面・神奈川方面・埼玉方面を加えた計16地区で構成されています。

国会ホームページ<http://www.tart.jp/>に各地区の表と地図が掲載されていますので、ぜひ活用ください。

お知らせ

地区紹介ページ

厚生調査委員会
アンケート結果

2014年度
研修会・イベント等の開催予定

会長挨拶

入会のご案内

入会のご案内

東京都診療放射線技師会からのお知らせ

2014/10/17 【お知らせ】平成26年度「電離式サ
2014/10/01 【お知らせ】地区紹介ページを更新し

2014/10/17 【研修会】第41回日暮里塾ワンコイン
2014/10/06 【研修会】第4地区研修会（開催日12/4
2014/10/06 【研修会】第1地区研修会（第2回）（
2014/10/06 【研修会】第3地区研修会（開催日11/2
2014/10/06 【研修会】城南支部研修会（開催日11/1
2014/10/06 【研修会】第1地区研修会（第1回）（
2014/10/06 【研修会】第16地区研修会（TART・S
2014/10/06 【研修会】第40回日暮里塾ワンコイン
2014/10/06 【研修会】第13地区研修会第39回日暮
2014/10/06 【研修会】第17回メディカルマネジメ
2014/10/06 【研修会】第38回日暮里塾ワンコイン
2014/09/06 【研修会】第6地区研修会（開催日10/3
2014/09/06 【研修会】第53回きめこまかな生涯教

トップページの
ここをクリック

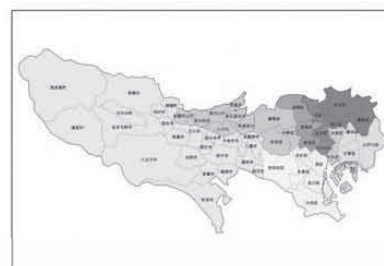
なお、毎月月替りで、各地区の特色や活動を紹介しています。地区表の上の地区名からリンクしていますので、こちらもぜひご覧ください。

情報委員会



第1地区	第5地区	第9地区	第13地区
第2地区	第6地区	第10地区	第14地区
第3地区	第7地区	第11地区	第15地区
第4地区	第8地区	第12地区	第16地区

関東支部	第1地区	千代田区	台東区	
	第2地区	中央区	台東区	
	第7地区	墨田区	江戸川区	江東区
城南支部	第4地区	千葉方面地区	千葉地域	
	第4地区	港区	渋谷区	
	第6地区	品川区	大田区	
	第11地区	世田谷区	目黒区	
	第15地区	神奈川方面地区	神奈川地域	
城西支部	第3地区	新宿区		
	第9地区	板橋区	豊島区	
	第10地区	練馬区	中野区	杉並区
神奈支部	第5地区	文京区	市川	
	第6地区	墨田区	墨田区	墨田区
多摩支部	第18地区	埼玉方面地区	埼玉地域	
	第12地区	西東京市	清瀬市	東久留米市
		小平市	東村山市	東大和市
		武蔵村山市		
	第13地区	上記、第12地区以外の多摩地域		



ソウル特別市放射線士会 (SRTA) との 学術交流協定締結

会長 篠原 健一

国際交流事業の一環として協議を重ねておりました「SRTAとの学術交流協定」ですが、2016年12月10日に正式調印となりました。

これまでの経緯は、

- ◇2015年8月、AACRT（シンガポール）でSRTA 会長・禹完熙（Woo Wan Hee）会長（当時）と首都同士の学術交流について意見交換し、日本に持ち帰り理事会で審議することを約す。
- ◇2015年11月、JCRT（京都）で禹会長と再会した際に、2016年3月のSRTA学術大会への招待を受ける。
- ◇理事会にて、SRTAとの学術交流協定について交渉に入ることを承認。
- ◇2016年3月、SRTA学術大会にて両会場の意思確認。同年10月のISRRT2016（ソウル）で調印日程、調印文書の内容について詰めることを約す。
- ◇2016年10月、ISRRT2016期間中に開催した懇談会で、学術交流の締結及び禹会長の任期中（2017年1月まで）に調印することで合意。
- ◇2016年11月8日、第8回理事会にて「学術交流協定書案」承認。



- ◇2016年12月10日、「ソウル特別市放射線士会と東京都診療放射線技師会との学術交流協定書」に調印。

ソウル側からの学術発表の受け皿としては、関東甲信越診療放射線技師学術大会を想定しています。これは、ソウルと交流協定を結んだ滋賀県と近畿地域の関係に前例があります。

東放技そして診療放射線技師の国際化に役立てるべく、協定が有意義なものとなるよう活動してまいります。

尚、本年1月にSRTA会長を任期満了で退任された禹完熙会長であります。2月25日に大韓民国放射線士会会長に選出されました。



第一部 急性腹症 急性膵炎

日本大学医学部附属板橋病院 中央放射線部 比内 聖紀

サマーセミナーやウィンターセミナーでご好評をいただいた「急性疾患アラカルト」が、3つの領域と各回それぞれにテーマを変えて先月より本誌で連載をスタート致しました。第二回目は、急性膵炎について解説致します。

はじめに

2015年3月に急性膵炎診療ガイドライン2015が出版された¹⁾。これは臨床病期に基づいた画像診断を中心とした局所合併症の分類、いわゆる改訂アトランタ分類の最終版が2013年に報告され、その内容を反映したものである²⁾。

本稿ではガイドラインを基に、急性膵炎における画像診断の果たす役割を中心に概説する。

急性膵炎とは

急性膵炎とは、膵臓内で活性化された消化酵素が膵臓や隣接する臓器を消化してしまう炎症性疾患である。原因として最も多いのは、アルコールと胆石、特発性（成因が特定できない場合）である。日本ではアルコールと胆石が2大成因であり、男性ではアルコール性膵炎が多く、女性では胆石性膵炎が多い。また、男性の発生頻度は、女性の約2倍である。

臨床的特徴として大多数の急性膵炎は突然発症し、上腹部痛を伴い、種々の腹部所見（軽度の圧痛から反跳痛まで）を伴う。急性膵炎は多くの場合、嘔吐、発熱、頻脈、白血球増加、血中または尿中の膵酵素の上昇を伴う。

急性膵炎の診断

日本では、2008年に厚生労働省難治性膵疾患調査研究班により急性膵炎の診断基準が定められている（表1）。

急性膵炎は、典型的な症状や血液・尿検査のデータだけで診断が可能ではあるが、診断基準に盛り込まれているように、画像診断の役割は極めて高い。その役割とは、①診断の確定、②原因精査、③重症度判定、④合併症の診断である。

鑑別診断の対象は、腹痛をきたす急性腹症で、消化管穿孔、急性胆嚢炎、イレウス、腸間膜動脈閉塞や急性大動脈解離などが挙げられる。

表1 急性膵炎の診断基準

診断基準
1. 上腹部に急性腹痛発作と圧痛がある。
2. 血中または尿中に膵酵素の上昇がある。
3. 超音波、CTまたはMRIで膵に急性膵炎に伴う異常所見がある。
上記3項目中2項目以上を満たし、他の膵疾患および急性腹症を除外したものを急性膵炎と診断する。ただし、慢性膵炎の急性増悪は急性膵炎に含める。
膵酵素については膵特異性の高いもの（膵アミラーゼ、リパーゼなど）を測定することが望ましい。

画像診断

急性膵炎の診断に用いられる画像診断として、①胸腹部単純X線撮影、②超音波検査、③CT、④MRIがある。

①胸部単純X線所見として、胸水貯留像、肺炎像などを認める。また、腹部単純X線所見として、イレウス像、拡張した大腸の急な途絶（colon cut-off sign）、左上腹部の局所的な小腸拡張像（sentinel loop sign）などがある。これらの所見はいずれも急性膵炎に特異的なものではなく、胸腹部単純X線所見のみによって急性膵炎の診断を下すことはできない。しかし、臨床経過の評価や、消化管穿孔などの他疾患との鑑別診断のためには必須の検査である。

②超音波検査は、膵の腫大や膵周囲の炎症性変化をとらえることが可能であり、診断に有用である。また、腹水、胆道結石、総胆管拡張などの急性膵炎の原因や病態に関連する異常所見を描出する他に、大動脈瘤など併存疾患のスクリーニングにも有用である。

③CTでは、確定診断できるだけでなく、腫瘍などの成因を描出することが可能である。また、重症度判定にも用いられており、急性膵炎における第一の検査となっている。CT所見として、膵腫大、膵周囲～後腹膜腔、結腸間膜ならびに小腸間膜の脂肪組織濃度上昇、液体貯留、膵仮性嚢胞形成、膵実質densityの不均一化、膵の造影不良（膵虚血、膵壊死）、後腹膜腔および腸間膜の脂肪壊死などがある。

④MRIは、膵炎の原因となる胆道結石や出血を伴う膵壊死の診断にはCTより有用である。MRCPは、胆石や総胆管結石の描出能が高く、超音波やCTで結石が明らかでない胆石性膵炎疑いの症例に有用である。また、出血性の脂肪壊死は、特に脂肪抑制T1強調像では高信号を呈するので、比較的容易に診断可能である。

改訂アトランタ分類より、急性膵炎は、A) 間質性浮腫性膵炎（図1）、B) 壊死性膵炎（図2）の2つに分類されている²⁾。膵実質に壊死を伴わないものを間質性浮腫性膵炎とし、壊死を伴うものを壊死性膵炎とする。

A) 間質性浮腫性膵炎は、膵の腫大を認めるもの

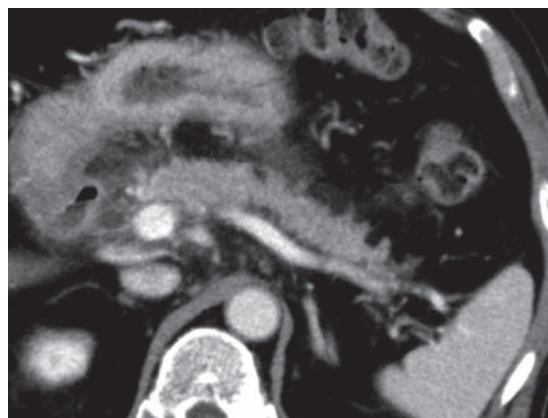


図1 間質性浮腫性膵炎

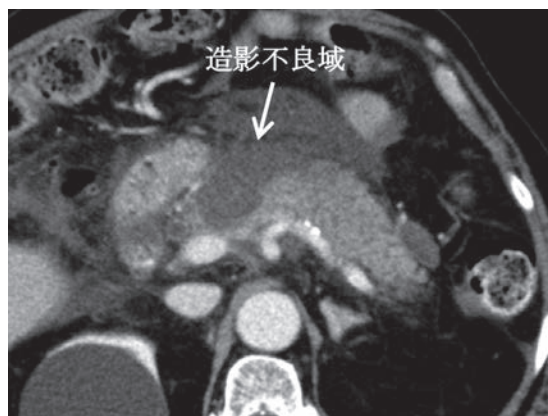


図2 壊死性膵炎

の、造影CTでは造影不良域を伴わない膵炎であり、膵周囲に液体貯留を認めることもある。多くの場合は発症1週間以内に臨床症状は改善する。

B) 壊死性膵炎は、膵実質または膵周囲組織の両者またはいずれか一方が壊死に陥ったものである。ただし、膵周囲組織のみの壊死は少なく、膵実質のみの壊死はさらに少ない。造影CTでは明らかな造影不良域が認められるものである。

CTの有用性

診断そのものにはCTは必ずしも必要としない場合もあるが、臨床所見や血液・尿検査、超音波検査によって確定診断ができない場合や膵炎の成因が明らかでない場合には有用である。CTの主な目的は重症度診断にあり、「急性膵炎診療ガイ

「ガイドライン2015」では、重症度判定におけるCTの推奨度を1（強い推奨）としている。

急性浮腫性膵炎と急性壊死性膵炎の鑑別は、治療方針の決定に重要である。膵の壊死あるいは虚血の診断には単純CTでは評価困難であり、造影ダイナミックCTによる膵の濃染の評価が必要である。正常膵実質は造影ダイナミックCTの後期動脈相（いわゆる膵実質相）に最も造影効果が強い。膵実質相ならびに平衡相でCT値が30HU以下であれば、膵壊死が疑われる⁵⁾。

急性膵炎発症初期では、造影ダイナミックCTの動脈相で膵の造影効果が不良であっても可逆的なこともあり、かならずしも膵実質の壊死とは断定できない。しかし、2週以降の造影ダイナミックCTでも造影不良域が認められれば、膵の壊死が強く疑われる。

日本では1976年以降、造影剤は急性膵炎に原則禁忌とされていた。しかし、急性膵炎の重症度判定や治療方針決定に造影CTが有用な情報をもたらすことや急性膵炎が増悪したとする国内の報告はないことから、2012年、慎重投与に改訂されている。一方、腎障害を有する場合には「腎障害患者におけるヨード造影剤の使用に関するガイドライン2012」が発刊されており、腎障害が認められる患者にはこのガイドラインに準拠しながら造影CTの必要性和リスクを勘案し、必要な説明と同意を得ておくこともまた重要である。

成因診断

急性膵炎との診断が下された場合には、速やかに成因診断を行う必要がある。成因診断の目的は原因病態を明らかにすることにより、急性膵炎の治療方針を決定することである。原因病態の治療は、急性膵炎の鎮静化の他、急性膵炎の再発予防のためにも重要である。

最も優先して検討すべき病態は、胆石性急性膵炎かどうかであり、内視鏡的乳頭処置（ERCP/ES）を行うか否かなどの治療方針にも大きく関係する。また、膵癌や膵管内乳頭粘液性腫瘍が急性膵炎の原因である可能性もあるので、膵臓の画像検査も必要である。

急性膵炎の重症度診断

厚生労働省急性膵炎重症度判定基準（2008）の特徴は、9つの予後因子（表2）からなる判定基準がある。それに加え、造影CTによる造影CT Grade（表3, 4）がある。この重症度判定基準では、9つの予後因子のみで重症度を判定できる特徴があるが、造影CT Gradeと組み合わせて重症とされるものでは、より死亡率が高いと報告されている。

重症度の判定基準では、①予後因子スコアが3点以上、または②造影CT Grade 2以上の場合には重症とされている³⁾。

表2 9つの予後因子

予後因子（各1点とする）
1. Base Excess \leq -3mEq/L、またはショック（収縮期血圧 \leq 80mmHg）
2. PaO ₂ \leq 60mmHg（room air）、または呼吸不全（人工呼吸管理が必要）
3. BUN \geq 40mg/dL（or Cr \geq 2mg/dL）、または乏尿（輸液後も1日尿量が400mL以下）
4. LDH \geq 基準値上限の2倍
5. 血小板数 \leq 10万/mm ³
6. 総Ca \leq 7.5mg/dL
7. CRP \geq 15mg/dL
8. SIRS診断基準*における陽性項目数 \geq 3
9. 年齢 \geq 70歳

*：SIRS診断基準項目：(1) 体温 $>38^{\circ}\text{C}$ または $<36^{\circ}\text{C}$ 、(2) 頻脈 >90 回/分、(3) 呼吸数 >20 回/分またはPaCO₂ <32 torr、(4) 白血球数 $>12,000/\text{mm}^3$ か $<4,000/\text{mm}^3$ または10%幼若球出現

表3 造影CT Grade

①炎症の膵外進展度（図3参照）		②膵の造影不良域（図4参照）	
前腎傍腔	0点	各区域に局限している場合、または膵の周辺のみの場合	0点
結腸間膜根部	1点	2つの区域にかかる場合	1点
腎下極以遠	2点	2つの区域全体を占める、またはそれ以上の場合	2点
①+② 合計スコア		膵を便宜的に3つの区域（膵頭部、膵体部、膵尾部）に分け判定する。	
1点以下	Grade 1		
2点	Grade 2		
3点以上	Grade 3		

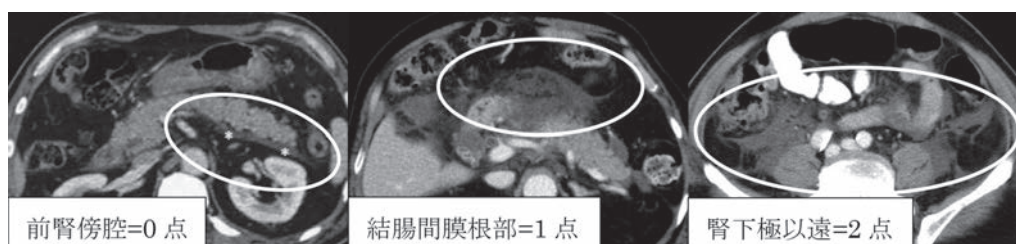


図3 造影CT Gradeにおける炎症の膵外進展度

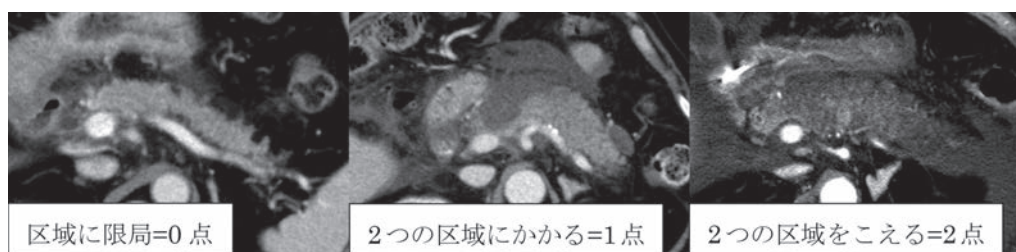


図4 造影CT Gradeにおける膵の造影不良域

表4 造影CTによるCT Grade分類

膵外進展度 膵造影不良域	膵外進展度		
	前腎傍腔	結腸間膜根部	腎下極以遠
<1/3	Grade 1	Grade 1	Grade 2
1/3~1/2	Grade 1	Grade 2	Grade 3
1/2<	Grade 2	Grade 3	Grade 3

原則として発症後48時間以内に判定する。

表5 局所合併症の分類

急性膵炎の種類	4週間以内	4週間以降
間質性浮腫性膵炎	急性膵周囲液体貯留 acute peripancreatic fluid collection; APFC	膵仮性嚢胞 pancreatic pseudocyst; PPC
壊死性膵炎	急性壊死性貯留 acute necrotic collection; ANC	被包化壊死 walled-off necrosis; WON

重症度判定の有用性

正確な重症度判定に基づく適切な初期治療の導入、場合によっては重症急性膵炎に対応可能な施設への転送にも有用であり、患者への害はなく判定されることは有益である。また、重症急性膵炎はいまだ死亡率が高いので、重症例を早期に検出する目的で重症度判定を行うことは有用である。

急性膵炎に伴う局所合併症

改訂アトランタ分類では、膵および膵周囲の局所合併症としての貯留物を発症からの経過時間と形態により、4つのカテゴリーに分類している（表5）。つまり、4週間以内の壊死を伴わない急性膵周囲液体貯留と壊死を伴う急性壊死性貯留、4週間以降の壊死を伴わない膵仮性嚢胞と壊死を伴う被包化壊死である。この4つのカテゴリーは、感染の有無により2分割されるため、さらに合計8つの範疇に分類されている。

基本治療方針

- ①急性膵炎を疑った場合には、診断基準に基づいて診断を行うとともに、病歴聴取、血液検査および画像診断により成因を検索する。
- ②急性膵炎と診断した場合は入院治療を行うが、入室（転送）前から呼吸・循環モニタリングと初期治療を速やかに開始する。
 - *この場合のモニタリングとは意識状態・体温・脈拍数・血圧・尿量・呼吸数・酸素飽和度などのモニタリングである。
 - *絶食による膵の安静（膵外分泌刺激の回避）、十分な初期輸液、十分な除痛が基本となる。
- ③重症度判定を行い、重症度に応じたモニタリング、治療を行う。初診時に予後因子スコア2点以下であっても後に重症化することがあり、経時的に繰り返し重症度判定を行うことが重要である。

*重症例では、嚴重な呼吸・循環管理が必要であり、自施設で対応が困難な場合は重症急性膵炎患者に対応可能な施設への転送を考慮しなければならない。

- ④急性膵炎の病態は病期により異なり、急性期を過ぎた後であっても感染合併症への注意が必要である。

*造影CTによる膵局所合併症（急性壊死性貯留や被包化壊死）の評価を行う。

おわりに

急性膵炎における画像診断の役割に関して概説した。急性膵炎における画像診断の役割は非常に大きい。われわれ、診療放射線技師は、疾患に対する画像所見を熟知し、診断に有用な画像を提供することが読影の補助につながると考える。

参考文献

- 1) 急性膵炎診療ガイドライン2015改訂出版委員会編：急性膵炎診療ガイドライン2015 [第4版]。金原出版，東京，2015
- 2) Banks PA, et al: Classification of acute pancreatitis-2012: revision of the Atlanta classification and definitions by international consensus. Gut 62: 102-111, 2013
- 3) 武田和憲 他：急性膵炎の診断基準・重症度判定基準最終改定案。厚生労働科学研究費補助金難治性疾患克服研究事業難治性膵疾患に関する調査研究，平成17年度総括・分担研究報告書。27-34, 2006
- 4) 臨床放射線編集委員会：救急画像診断のすべて。金原出版，臨床放射線 60 (11)：1765-1773, 2015
- 5) Shyu JY, et al: Necrotizing pancreatitis: diagnosis, imaging, and intervention. Radiographics 34: 1218-1239, 2014
- 6) 日本腎臓学会，日本医学放射線学会，日本循環器学会編：腎障害患者におけるヨード造影剤使用に関するガイドライン2012。東京医学社，東京，2012

第31回 全国循環器撮影研究会 総会・学術研究発表会

課題研究① 座長 田邊智晴（関西IVR撮影技術研究会）
『血管撮影装置に付随している面積線量計の不確かさと校正方法』
兵庫医科大学病院 松本一真

課題研究② 座長 山下慎一（循環器画像技術研究会）
『血管撮影における診断参考レベルの検討
—日本の診断参考レベルとの比較—』
東京大学医学部附属病院 林 利廣

総会

教育講演 『脳梗塞の診断から血管治療まで』
講 師 筑波大学 脳神経外科 松丸祐司 先生

血管内治療の画像支援 ～技師の立場から～
座長 塚本篤子（循環器画像技術研究会）瀬口繁信（東海循環器画像研究会）

カテ前情報としてのCT・MR
新潟大学医歯学総合病院 能登義幸

血管内治療での画像支援を中心に
名古屋第二赤十字病院 西條貴哉

血管内治療でのコーンビームCT利用
横浜新都市脳神経外科病院 齋藤 誠

日 時：平成29年4月15日（土） 17:30～受付開始

場 所：横浜開港記念会館

参加費：会員1000円，非会員2000円

懇親会『全循研の夕べ』

日 時：平成29年4月14日（金） 18:30～20:30（開場 18:00）

場 所：レストランDANZERO（ダンゼロ）パシフィコ横浜 展示ホール2F海側

参加費：会一員7000円，非会員8000円（予定）

地 酒：各推進母体からの持ち込みを募集しております。

お持ち込み，もしくは「4/14全国循環器撮影研究会宛て」で直接DANZEROへお送り下さい。

超音波画像研究会

<http://us-image.kenkyuukai.jp/>

第249回定例会

超音波画像検査において疾患の鑑別には多くの経験が必要です。それには疾患を深く知り、多くの症例を診る事が重要です。今回は転移性肝臓について深く知り、症例数を診るために東葛病院 放射線科の安藤先生にご講演いただきます。

日 時：平成29年4月19日（水）18時30分（受付18時00分～）
会 場：中央医療技術専門学校 視聴覚教室（東京都葛飾区立石3-5-12）
講 師：東葛病院 放射線科 安藤 健一 先生
テ ー マ：「転移性肝臓を診る」
参 加 費：会員500円/準会員・非会員1,000円/新入会3,000円（入会金含む）/学生無料

第250回定例会 ～25周年記念講演・祝賀会～

日 時：平成29年7月30日（日）（受付13時30分～）
会 場：葛飾シンフォニーヒルズ別館レインボーホール（東京都葛飾区立石六丁目33番1号）
教育講演（14：10～）
「米国放射線技師の現状～大学病院を視察して～」 横須賀市立うわまち病院 小原 和史 君
特別講演1（14：50～）
「画像検査の明日～後腹膜エコー診断から考えて～」 PL東京健康管理センター 桑島 章 先生
特別講演2（16：00～）
「画像検査の明日～消化器画像検査の見地から～」 東京ミッドタウンクリニック 森山 紀之 先生
祝賀会（17：30～） 葛飾シンフォニーヒルズ別館 メヌエット（2F）

問い合わせ先：中央医療技術専門学校 菅 和雄、今尾 仁 あて
TEL：03-3691-1879（16時30分～18時00分）
超音波画像研究会 事務局
E-mail：us.image.workshop@gmail.com

平成29年度

関東甲信越診療放射線技師学術大会

「信州から発信 健康長寿を目指して」
～高齢化社会で求められる放射線診療・医療サービス～

開催日
会場

2017年 6月 24日（土）～25日（日）

主会場：長野市若里市民文化ホール
情報交換会：ホテル メルパルク 長野

大会HP：<http://www.knt.co.jp/ec/2017/kshg29/index.html>

事前参加登録受付期間：2017年 1月 15日～2017年 6月 1日

発表演題登録：2017年 1月 10日～2017年 4月 1日

主催：公益社団法人日本診療放射線技師会
一般社団法人長野県診療放射線技師会
公益社団法人東京都診療放射線技師会
公益社団法人 神奈川県診療放射線技師会
一般社団法人山梨県診療放射線技師会
一般社団法人千葉県診療放射線技師会

南関東・北関東地域診療放射線技師会
公益社団法人埼玉県診療放射線技師会
公益社団法人茨城県診療放射線技師会
一般社団法人栃木県診療放射線技師会
一般社団法人群馬県診療放射線技師会
一般社団法人新潟県診療放射線技師会

後援：長野県 長野市

支援：（公財）ながの観光コンベンションビューロー

実施：一般社団法人長野県診療放射線技師会

大会長：中沢 利隆（一般社団法人長野県診療放射線技師会 会長）

実行委員会・事務局
長野赤十字病院 中央放射線部
〒380-8582 長野市若里5-22-1
Tel：026-226-4131(内線3158)
Fax：026-224-0782
E-mail：kkrtsc2017office@gmail.com

アクセスマップ



バス【長野電鉄】
長野駅東口（21番のりば）～保科温泉線「ビッグハット」下車徒歩1分
長野駅東口（21番のりば）～日赤・水野美術館線「水野美術館」下車徒歩3分
路線番号：14番「保科温泉線」15番「日赤線」

タクシー
長野駅東口から10分

お車で越しの方
長野I.C.もしくは須坂長野東I.C.から20分
・国道18号線上千田交差点から西へ500m
・国道117号線荒木交差点から東へ1000m

南関東FRT第3回研修会

南関東地域女性技師の会

【南関東FRT(Female of Radiological Technologist)】です。

女性だけでなく男性技師も参加OKです。

地域を超えて広く楽しく情報交換いたしましょう。

日時：平成29年8月19日(土) 15:00～18:00

場所：公益社団法人 東京都診療放射線技師会 研修センター

参加費： 会員500円 非会員1000円

< プログラム >

1. 15:15～15:45

「いまさら聞けない乳房撮影のコツ！」

聖マリアンナ医科大学プレスト&イメージングセンター 後藤 由香先生

2. 15:45～16:30

「若年性・遺伝性乳がんについて」

～若い女性の相談にどう答えますか？～

聖路加国際病院 乳腺外科部長

山内 英子先生

3. 16:30～17:15

「医療現場におけるコミュニケーション学」

拓殖大学 商学部教授

長尾 素子先生

～ 休憩 15分 ～

4. 17:30～18:00

全体討議 「女性が楽しく仕事と育児をこなすためには！」

参加希望を記載の上、**7月31日**までに
下記へお申し込みください。(定員80名)

お申し込み： tanpopo_frt@live.jp

主催：(公社)日本診療放射線技師会 (公社)東京都診療放射線技師会
(公社)神奈川県放射線技師会 (一社)山梨県診療放射線技師会
(一社)長野県診療放射線技師会 (一社)千葉県診療放射線技師会

第33回



日本診療放射線技師 学術大会

The 33rd Japan Conference of
Radiological Technologists (JCRT)

第24回東アジア学術交流大会 The 24th East Asia Conference of
Radiological Technologists (EACRT)

国民と共にチーム医療を推進しよう
Let's promote team medical care with the nation

未来への開港 — 技の継承と飛躍 —

Open a Port to the Future: The Succession and Progress of Techniques



会期 Date 2017年9月22日(金)~24日(日) September 22nd (Fri)-24th (Sun), 2017

会場 Venue 函館市民会館・函館アリーナ Hakodate civic hall / Hakodate arena

会長 President 中澤 靖夫 (公益社団法人 日本診療放射線技師会 会長)
Yasuo Nakazawa (The Japan Association of Radiological Technologists)

主催 Host 公益社団法人 日本診療放射線技師会
The Japan Association of Radiological Technologists

大会長 Chairman 板東 道夫 (一般社団法人 北海道放射線技師会 会長)
Michio Bando (The Hokkaido Association of Radiological Technologists)

共催 Cosponsor 一般社団法人 北海道放射線技師会
The Hokkaido Association of Radiological Technologists

運営事務局 Secretariat 株式会社コンベンションワークス 〒003-0809 札幌市白石区菊水9条3丁目1-17 TEL:011-827-7799 FAX:011-827-7769 E-mail:jcrt33@c-work.co.jp
Convention Works Corporation 1-17, 3-chome, Kikusui 9-jo, Shiroishi-ku, Sapporo, 003-0809 E-mail:jcrt33@c-work.co.jp



<http://c-work.co.jp/jcrt33/>

会員動向

平成28年度2月期

年 月	月末会員数	新 入	転 入	転 出	退 会
平成27年度末集計	2,136	159	27	8	130
平成28年 4月	2,146	12	4	1	5
平成28年 5月	2,176	34	2	3	3
平成28年 6月	2,214	38	2	0	2
平成28年 7月	2,242	29	0	1	0
平成28年 8月	2,223	11	1	0	31
平成28年 9月	2,251	30	2	2	2
平成28年10月	2,272	20	2	0	1
平成28年11月	2,274	5	0	0	3
平成28年12月	2,244	10	1	1	40
平成29年 1月	2,246	7	2	1	6
平成29年 2月	2,245	5	1	2	5

診療放射線学科専任教員募集

東京電子専門学校

医療・コンピュータ・電子の総合学園、創立71年の伝統と4省認定校

募集対象者：診療放射線技師（臨床実務経験5年以上）、教育経験あればなお可

募 集 人 員：若干名

学 校 名：東京電子専門学校

住 所：〒170-8418 東京都豊島区東池袋3丁目6番1号

待 遇：経歴、資格、前給等を考慮して本校規定により優遇
賞与（昨年度実績5.45月）、交通費支給

勤務・休日：9:00～17:00（実働7時間）、週休2日（土日祭休）休出は代休有、半日有給制度有

社 会 保 険：社会保険完備（私学共済等）

宿舍の有無：なし

応 募 方 法：履歴書（写）、職務経歴書、資格者証のコピー（必要なもののみ）、通勤可能な方、
担当できる教科（可能であればお知らせください）

担 当 者：脇坂 哲夫 E-mail：saiyo@tokyo-ec.ac.jp

TEL：03(3982)3131（大代表） FAX：03(3980)6404

News

4月号

日 時：平成29年2月2日(木)

午後6時45分～午後7時45分

場 所：公益社団法人東京都診療放射線技師会 事務所

出席理事：篠原健一、白木 尚、石田秀樹、野口幸作、
市川重司、江田哲男、長谷川雅一、鈴木雄一、
安宅里美、竹安直行、平瀬繁男、高橋克行、
市川篤志、崎浜秀幸、原子 満、工藤年男、
高野修彰、関 真一、浅沼雅康

出席監事：葛西一隆

指名出席者：関谷 薫(第2地区委員長)、稲毛秀一(第5地
区委員長)、鎌田 修(第8地区委員長)、澤田
恒久(第10地区委員長)、千葉利昭(第11地区
委員長)、鈴木 晋(第12地区委員長)、宮谷
勝巳(第14地区委員長)、大脇由樹(総務委員)、
雨宮広明(総務委員)、河内康志(総務委員)

欠席理事：齊藤謙一

議 長：篠原健一(会長)

司 会：白木 尚(副会長)

議事録作成：河内康志

前回議事録確認

前回議事録について確認を行ったが修正意見はなかった。

理事会定数確認

出席：19名(※議事採決後に1名出席)、欠席：1名

会長挨拶

年度末の締めおよび来年度に向けての準備をお願いしたい。

2年後の関東甲信越学術大会の開催担当と、3年後の
本会の創立70周年での記念事業に関して今年度中に実
行委員長を選任するので協力をお願いしたい。

4年後にAACRT(Asia Australasia Conference of
Radiological Technologists)が東京開催になる可能性
もあるので合わせて協力をお願いしたい。

役員、委員の皆さまも各実行委員になってもらい、さ
まざまな行事を通じて5年、10年、20年後に繋がるよ
うな人材育成も踏まえた活動を実行委員長と一緒にして
いただくよう協力をお願いしたい。

東京都看護協会誌「看護とうきょう」に掲載された
「チーム医療の現場から」を紹介する。(閲覧)

報告事項

1) 会長

- ・補足：1月13日「新春のつどい」に多くの会員・各地
区委員、各役員の方およびメーカーの方々にも参加し
ていただき、感謝する。
- ・その他、活動報告書に追加なし。

2) 副会長

白木副会長

- ・追加：1月29日、日本診療放射線技師会主催のAi講
習会。
- ・その他、活動報告書に追加なし。

石田副会長

- ・活動報告書に追加なし。

3) 業務執行理事

総務：鈴木理事

- ・活動報告書に追加なし。

経理：関理事

- ・活動報告書に追加なし。

庶務：野口理事

- ・活動報告書に追加なし。

4) 専門部委員会

- ・活動報告書に追加なし。

5) 支部・地区委員会

- ・活動報告書に追加なし。

6) 特別委員会等

- ・活動報告書に追加なし。

7) その他・研修センター申請・事業報告

- ・活動報告書に追加なし。

議 事

1) 事業申請について

①平成28年度第1地区研修会

テーマ：乳がん検診におけるMMGと乳腺USの総合判定

日 時：平成29年3月22日(水) 19時00分～20時30分

場 所：東放技研修センター

講 師：松浦陽子（診療放射線技師）

上記開催について審議した。

【承認：18名、保留：0名、否認0名】

2) 次年度事業計画案について

白木副会長：先月の理事会にて総括をお伝えしたが、今回は誤字、脱字などを含め内容について審議をお願いしたい。

鈴木総務委員長：承認後に修正も含むかたちで審議願いたい。2月10日を最終期限とする。

上記について審議した。

【承認：18名、保留：0名、否認0名】

3) 委員の新任・変更・退任について

・第14地区委員

退任 勝木 葉子（所属：東京慈恵医大学附属柏病院）
（変更） ↓

新任 安藤 健一（所属：医療法人財団東京勤労者医療会 東葛病院）

上記、変更について審議した。

【承認：18名、保留：0名、否認0名】

4) 新入退会について

1月：新入会7名、転入2名、転出1名、退会6名

上記、新入退会について審議した。

【承認：18名、保留：0名、否認0名】

地区質問、意見

【第4地区】

竹安地区委員長：前回の理事会で、「Dropbox」を使ったファイル管理の話があったが、地区活性化資金を使って地区でもファイル管理をしていいのか教えていただきたい。

鈴木総務委員長：本会でも、まだ「Dropbox」を使用した運用ができるか検討している段階である。セキュリティの問題や他にもっと良いソフトウェアがないかなど、手探りで動いている状態である。皆さまの方からご提案をお願いしたい。

竹安地区委員長：地区レベルでの共有を目的としていた。

篠原会長：是非、東京都診療放射線技師会（全体）で一緒に検討し、良いものであれば、一緒に使用していきたい。

連絡事項

1) 渉外委員会：高野委員長

・理事会資料にも添付したが、小野賞の推薦を各地区委員会、各専門部委員会から1名、来月の理事会までをお願いしたい。また、受賞（推薦）者には、総会に出席いただくようお願いしてほしい。

2) 学術・教育委員会：市川委員長

・2月18日に開催されるウインターセミナーの参加申し込み者が現在6名となっている。皆さまのご協力を願いたい。

3) 厚生調査委員会：江田委員長

・本年のアンケート調査の進捗の報告の結果、回答率は42.3%で、例年になく高い数字だった。皆さまのご協力に感謝する。4月の会誌に掲載予定で現在分析中。分析作業が終わり次第報告する予定。

・南関東女性活躍推進アンケート調査に関して、一部、デリケートな分野である妊娠について配慮にかけたアンケート依頼となってしまう、お詫び申し上げる。アンケートの締め切りは、3月末まで。引き続きご協力をお願いしたい。

4) 情報委員会：安宅委員長

・ホームページの地区紹介の記事の更新を考えている。年度替わりの時期を予定しているため、各地区のご協力を願いたい。

・研修会情報をホームページに掲載した後に変更があった際は、変更の記事を情報委員会まで連絡をお願いしたい。

5) 編集委員会：代理 高橋編集委員（第6地区委員長）

・会誌の印刷会社の変更で皆さまにご心配をおかけした。2月号が本日、無事に郵便局に納められた。間もなく皆さまのお手元に届く予定である。

6) 篠原会長

・2月6日14時30分より「医療従事者ネットワーク講演会」が開催される。都庁より参加者が少ないため協力依頼がきている。時間帯の関係もあり難しいかと思うが、参加できる方は、よろしく願いたい。

・2月11日に当研修センターで南関東地域の役員会を開催する。議題は関東甲信越学術大会のことが主になると思う。ご意見、ご要望などありましたらお寄せいただきたい。

7) 城西支部委員会：平瀬支部委員長

・2月10日に東京医科大学病院にて城西支部研修会を開催する。テーマは「脳外科医が求める画像診断」。参加、協力を願いたい。

8) 第8地区：鎌田委員長

・2月25日に第8地区研修会を開催する。テーマは「X線の医療応用について」。NTT東日本関東病院のアンギオ装置や治療装置も見学できる。参加、協力を願いたい。

9) 第16地区：工藤委員長

・2月18日にTART、SART合同で第16地区研修会を開催する。テーマは「骨軟部について」。参加、協力

をお願いしたい。

10) 定款諸規程等検討委員会：野口委員長

- ・定款・諸規程改正(案)を理事会資料として添付した。
今回は代議員選出規程、選挙管理規程なども入った状態での配信である。来月の理事会で議事としてあげるため、ご審議よろしくをお願いしたい。

第6地区：高橋委員長：地区委員会からの質問で、臨時総会などの際は、代議員の選出もそれに合わせて行うのか。

篠原会長：総会で承認され、登記・都庁等届け出をした時点で効力が発生する。翌年の定期総会までに臨時総

会を開く場合は、開催に間に合わせ代議員選出(選挙)となる。

その他

- ・特になし

今後の予定について

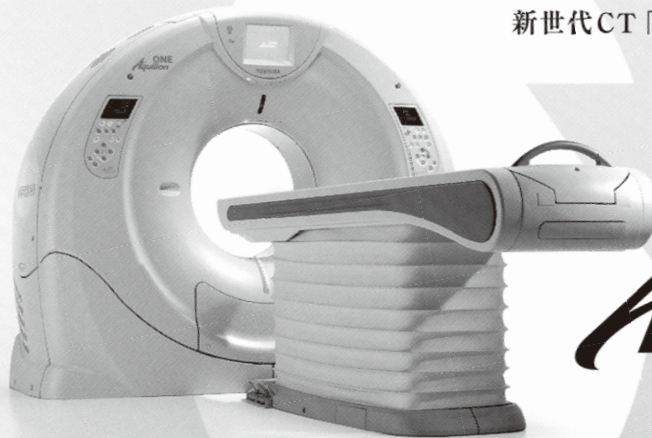
事業予定表のエクセルシートを逐次更新している。最新のものを確認願いたい。事業申請など状況を確認し、何かあれば鈴木総務委員長まで連絡をお願いしたい。

以上

TOSHIBA
Leading Innovation >>>

たった1回転で全脳が診える。心臓が診える。

Area Detectorが、1回転で全脳も心臓もフルカバー。
新世代CT「Aquilion ONE」の誕生です。



ONE
Aquilion
Area Detector CT



東芝メディカルシステムズ株式会社

本社 〒324-8550 栃木県大田原市下石上1385番地 お問い合わせ先 03-3818-2170(東京本社)
<http://www.toshiba-medical.co.jp>

承認番号：219ACBZX00029000
東芝スキャナ Aquilion ONE TSX-301A

学術講演会・研修会等の開催予定

日時、会場等詳細につきましては、会誌でご案内しますので必ず確認してください。

平成29年度

1. 学術研修会
 - ☆第16回サマーセミナー 平成29年 8 月
 - 第20回メディカルマネジメント研修会 平成29年11月
 - ☆第16回ウインターセミナー 平成30年 1 月
2. 生涯教育
 - 第60回きめこまかな生涯教育 平成29年 5 月27日(土)
 - 第61回きめこまかな生涯教育 平成29年10月
 - 第62回きめこまかな生涯教育 平成30年 2 月
- ☆3. 日暮里塾ワンコインセミナー
 - 第65回日暮里塾ワンコインセミナー(フレッシュャーズセミナー合同開催) 平成29年 5 月28日(日)
 - 第66回日暮里塾ワンコインセミナー 平成29年 6 月 8 日(木)
 - 第67回日暮里塾ワンコインセミナー(フレッシュャーズセミナー合同開催) 平成29年 6 月11日(日)
- ☆4. 第15回ペイシェントケア学術大会 平成29年 6 月18日(日)
- ☆5. 第17回東放技・東京部会合同学術講演会 平成29年 9 月
6. 集中講習会
 - 第10回MRI集中講習会 平成30年 2 月
- ☆7. 支部研修会
 - 城東・城西・城南・城北・多摩支部研修会
8. 地区研修会
9. 特別委員会研修会
 - SR推進委員会研修会 平成30年 3 月
10. 地球環境保全活動
 - 荒川河川敷清掃活動
 - 日暮里駅前清掃活動
 - 富津海岸清掃活動

※公益社団法人東京都診療放射線技師会 第68回定期総会 平成29年 6 月18日(日)

関連団体

第31回全国循環器撮影研究会 総会・学術研究発表会	平成29年 4 月15日(土)
超音波画像研究会定例会 第249回定例会	平成29年 4 月19日(水)
平成29年度第1回業務拡大に伴う統一講習会	平成29年 5 月13日(土)～14日(日)
平成29年度関東甲信越診療放射線技師学術大会	平成29年 6 月24日(土)～25日(日)
平成29年度第2回業務拡大に伴う統一講習会	平成29年 7 月 8 日(土)～ 9 日(日)
超音波画像研究会定例会 第250回定例会	平成29年 7 月30日(日)
南関東FRT 第3回研修会	平成29年 8 月19日(土)
平成29年度第3回業務拡大に伴う統一講習会	平成29年 9 月16日(土)～17日(日)
第33回日本診療放射線技師学術大会	平成29年 9 月22日(金)～24日(日)
平成29年度第4回業務拡大に伴う統一講習会	平成29年11月11日(土)～12日(日)
平成29年度第5回業務拡大に伴う統一講習会	平成30年 1 月20日(土)～21日(日)
平成29年度第6回業務拡大に伴う統一講習会	平成30年 3 月 3 日(土)～ 4 日(日)

☆印は新卒かつ新入会 無料招待企画です。

(新卒かつ新入会員とは、技師学校卒業年に技師免許取得し本会へ入会した会員をいう)

イエローケーキ

寄席に行こう

“えー お運びいただきまして厚く御礼申し上げます。” なんてえ〜ところから話が始まっていく落語！ 今や落語ブーム到来で、ごひいきな噺家さんのチケット、なかなか取れね〜と来てやがる。

こんな盛り上がりを見せている落語の構成は、「まくら(枕)」+「本題」+「おち(さげ)」と話は広がっていく。

「まくら(枕)」ってえ〜のは、本題につながっていく小話のことで、この“まくら”を聞くだけで心持が良くなっていく。

「本題」は、古典・怪談・創作といろんな話を、江戸情緒満載のはなし口調で語っていく。時代の違う風景を考えながら聴く落語。聴く人によって情景は変化していく。つまり、聴いている人の数だけ情景があるてえ〜わけだ。

話の最後は、「おち(さげ)」がある。すんなりと落ちるものもあれば、考えさせられる落ち、どうも腑に落ちねえなんてえことも度々。そこは、愛嬌で帰ってからネットで復習。

そして、噺家の道具といや〜、扇子と手ぬぐいだけ。安いね〜！ 安いといや〜、木戸銭(入場料)。定席といわれる寄せ場は都内に4つ。どれも、3時間たっぷりと入れ替え無しで3,000円くれえ〜で聴けるときたもんだ。おっかーに買って帰る、ケーキより安いと来てやがる。

そういや〜日暮里にもいい寄席があるってね。東放技研修センター。ワンコインセミナーや地区・支部などの研修会と、木戸銭も安くて、心に響くものばかりをやってやがる。一度行ってみてもいいかもな〜。

最後に、噺家さんの落語と診療放射線技師の仕事は、共通するところがあるってえ〜のを、おめーさんは、知ってるかい？ それはよ〜、見えね〜もんが見えるようになることだ。

御後がよろしいようで。(^^)♪

竹ノ家 喬太郎

「東京放射線」5月号のお知らせ

会誌「東京放射線」5月号は第68回定期総会の資料として、昨年度の事業報告をすべて掲載するため会誌発送は5月中旬頃を予定しております。

会員の皆さまのご理解、ご協力をよろしくお願い申し上げます。

編集委員会

公益社団法人 東京都診療放射線技師会 研修会等申込書

研修会名	第 回		
開催日	平成 年 月 日() ~ 月 日()		
会員/非会員 (必須)	<input type="checkbox"/> 会員 <input type="checkbox"/> 非会員 <input type="checkbox"/> 一般 ※ 日放技会員番号(必須) [] <input type="checkbox"/> 新卒かつ新入会の方はチェック		
所属地区	第 地区 または 東京都以外 [] 県		
ふりがな			
氏 名			
性 別	<input type="checkbox"/> 男性 <input type="checkbox"/> 女性		
連絡先	<input type="checkbox"/> 自宅 <input type="checkbox"/> 施設 ⇒ 施設名 []		
	TEL (必須)		
	FAX		
	メール (PCアドレス)		
備 考			

FAX 03-3806-7724

公益社団法人 東京都診療放射線技師会 事務所

登録事項変更届

公益社団法人東京都診療放射線技師会 殿

公益社団法人日本診療放射線技師会 殿

会 員 番 号	
氏 名	印
氏名（カタカナ）	
性 別	男性 ・ 女性
生 年 月 日	昭和 ・ 平成 年 月 日生
メールアドレス	

下記のとおり、登録事項の変更をお願い申し上げます。

□氏名の変更

改姓（変更後の氏名）	
------------	--

□送付先変更

現在の送付先	勤務先 ・ 自宅
新 送 付 先	勤務先 ・ 自宅

□住所等の変更

新 勤 務 先	勤 務 先 名	部署
	勤務先所在地	〒 ー
	電 話	
旧 勤 務 先		
新 自 宅	現 住 所	〒 ー
	電 話	
旧 自 宅 住 所		

□その他

通 信 欄	
-------	--

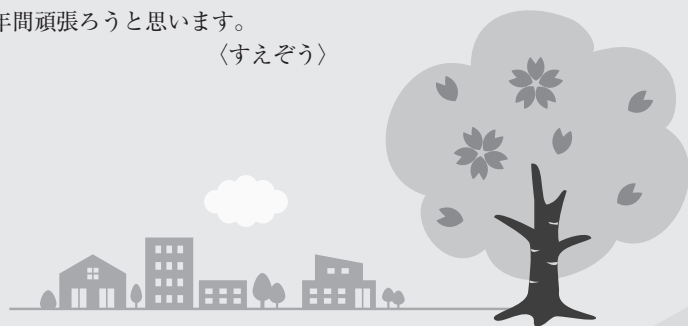
受 付
確 認平成 年 月 日
平成 年 月 日 印

Postscript

住んでいるマンションに自治会（町内会に相当する組織で、マンションの管理をする理事会とは別の組織）があり、その役員の順番が回ってきました。1年間の交代制で、役員の中で会長や書記等の役割を決める必要がありました。当然会長をやろうという人はおらず結局抽選ということになりました。役員20人でくじ引きとなり当たってしまいました…。

忘年会などの抽選や懸賞などはことごとく外れるので、くじには当たらないだろうとタカをくくっていたのですが…。当たってほしいくじには当たらず、当たってほしくないくじに当たる…結局くじ運が悪いと言うことなのでしょう。それでもこれも一つの運だと思います。

〈すえぞう〉



■ 広告掲載社

コニカミノルタジャパン(株)
東京電子専門学校
東芝メディカルシステムズ(株)
富士フイルムメディカル(株)
(株)六濤

東京放射線 第64巻 第4号

平成29年3月25日 印刷（毎月1回1日発行）

平成29年4月1日 発行

発行所 東京都荒川区西日暮里二丁目22番1 ステーションプラザタワー505号
〒116-0013 公益社団法人 東京都診療放射線技師会

発行人 公益社団法人 東京都診療放射線技師会

会長 篠原 健一

編集代表 浅沼 雅康

振替口座 00190-0-112644

電話 東京 (03) 3806-7724 <http://www.tart.jp/>

事務所 執務時間 月～金 9:30～17:00

案内 ただし土曜・日曜・祝日および12月29日～1月4日までは執務いたしません

電話・FAX (03) 3806-7724

編集スタッフ

浅沼雅康

内藤哲也

岩井譜憲

森 美加

高橋克行

田沼征一

山崎綾乃